

第9回教育委員会（定）

開会日時 令和8年 5月 11日（月）

午前 10時00分

閉会日時

午前 10時34分

開会場所 教育支援センター

出席者

教 育 長	長 沼 豊
委 員	小 林 美 香
委 員	野 田 義 博
委 員	善 本 久 子
委 員	山 口 謠 司

出席事務局職員

事務局次長	林 栄 喜	地域教育力担当部長	金 子 和 也
教育総務課長	久保田 智恵子	多様な学び推進担当課長	濱 野 有 樹
学 務 課 長	小 林 晴 臣	指 導 室 長	富 田 和 己
新しい学校づくり課長	田 中 一 誉	学校配置調整担当課長	野 崎 友 輔
施設整備担当副参事	彼 島 勲	生涯学習課長	池 田 雄 史
地域教育力推進課長	小 熊 大 介	教育支援センター所長	渥 美 久 枝
中央図書館長	山 田 綾 子		

署名委員

教育長

委 員

午前 10時 00分 開会

教 育 長 皆様、おはようございます。本日は4名の委員の出席を得ましたので、委員会は成立しております。

それでは、ただいまから令和8年第9回教育委員会を開会いたします。

本日の委員会は2名から傍聴の申し出がなされており、会議規則第30条により許可しましたので、お知らせいたします。

本日の会議に出席する職員は、林次長、金子地域教育力担当部長、久保田教育総務課長、濱野多様な学び推進担当課長、小林学務課長、富田指導室長、田中新しい学校づくり課長、野崎学校配置調整担当課長、彼島施設整備担当副参事、池田生涯学習課長、小熊地域教育力推進課長、渥美教育支援センター所長、山田中央図書館長、以上、13名でございます。

本日の議事録署名委員は、会議規則第29条により、小林委員にお願いいたします。

次に、非公開による審議とする案件の確認をいたします。

報告(2)「成増生涯学習センター及び成増教育相談室の長寿命化改修に係る検討状況について」は、6月の文教児童委員会で審議を予定している案件のため、本日の教育委員会において公開で審議を行うことにより、具体的かつ自由な討論、質疑ができないおそれがありますので、一時非公開による審議とし、議事進行の都合上、委員会の最後に処理することにご異議ございませんか。

(異議なし)

教 育 長 それでは、そのように処理します。

それでは報告事項を聴取します。

○報告事項

1. 令和7年度中高生勉強会「学びiプレイス」実施報告

(生－1・生涯学習課)

教 育 長 報告(1)「令和7年度中高生勉強会「学びiプレイス」実施報告」について、生涯学習課長から報告願います。

生涯学習課長 「生－1」をご覧くださいと思います。

令和7年度中高生勉強会「学びiプレイス」実施報告になります。

中学生及び高校生と高校生相当年齢者を対象に、学習支援と相互交流を行う事業というふうになっております。

まず、1でございます。実施期間でございます。

令和7年4月8日から8年3月7日までとなっております。

春休み期間は除いているというような状況でございます。

2でございます。日時・会場・実施回数・参加状況でございます。

以下、最初の5か所については、こちらは毎週行っておりまして、グリーンカ

レッジホールは、土曜日のみ、隔週で開催というふうになっておりますので、実施回数が異なっているというところでございます。

人数でございますが、前年度より300名ほど少なくなっているという状況でございました。また、登録者数も、若干ではありますが、減っているというような状況でございます。

3でございます。学年別参加状況になります。

昨年より大幅に減ったのは9年生というふうになっておりまして、前年度比で見ますと、360名ほど減っているというような状況でございます。

次のページに移らせていただきまして、4、5でございます。

こちらは、前年より変更はございませんので、割愛させていただきたいと思えます。

次、6でございます。実施状況でございます。

こちらは、こちらにもありますとおり、参加者が減った主な要因については、9年生が高校進学後に、登録はしていただいているのですが、参加頻度がかなり減少したというところでございます。

また、こちらの報告にもありますとおり、本事業は、学習支援だけでなく、様々な悩みなどの相談やキャリア支援事業など、相互交流や居場所として大変重要な事業だというふうに考えております。

続いて、7アンケート結果でございます。

こちらは、回答率といたしましては、16%ほどというところでございました。

こちらの事業を知ったきっかけについては、こちらは参考に、こちらの方では、大体、「学校で配られたチラシ」「家族が教えてくれた」というところが多いというような状況もございますので、そこに向けて、参加者が増えるよう周知に今後も努めてまいりたいというふうに考えております。

簡単でございますが、以上です。

教 育 長 質疑、意見等がございましたら、ご発言ください。

野 田 委 員 ご報告ありがとうございます。

この事業については、一度参加された方の継続的な参加が多く、参加された方の満足度が非常に高いことは、これまでも評価されてきた点であり、今回も大いに評価されるべきポイントだと考えております。

一方で、課題となっているのは、ご報告にもありましたとおり、参加者数の増減であると受け止めています。継続して参加してくださる方は一定数いるものの、初めて参加される方がそれほど多くない状況が見られます。これについては、学年の変化に伴って参加者数に増減が生じる傾向が、これまでもあったように感じております。

周知については、基本的にはチラシの配布を通じて参加につながっているのですが、この「学びiプレイス」で学習できる機会や、年齢の枠を超えた交流が生まれることなど、たいへんすばらしい環境であるということを、より多く

の方に知っていただく必要があると感じています。また、実際に参加された方の多くが高い満足感を持っておられることから、そのような声を、より多くの方に届ける機会についても検討していただければと思います。

この場合は、勉強したいと思って参加される子どもたちはもちろんのこと、学びを支えようとする方々や、それを取り巻く大人の方々にとっても居場所となっていることが重要な点であり、そこにこの「学びiプレイス」の意義があると考えています。

そのため、こうした成果や意義について、子どもたちだけでなく区民全体に向けても共有していただき、この事業のさらなる推進につなげていただきたいと思います。周知の方法についても、これまでの取組を変えるということではなく、新たな手法を取り入れながら、より広く知っていただけるようご検討いただければと思います。

生涯学習課長

事業にご理解いただきまして、誠にありがとうございます。

周知の方法については、今後、すぐ一ととか、そのようなシステムもありますので、そのようなところを利用していくということと同時に、少し今回のこの事業については、なかなか大きく内容を周知することが、色々な支援が必要なお子さんとかが来ているというような状況もあったりとかするというのを聞いておりますので、その辺も含めて、事業者の方とも相談しながら、例えばInstagramのようなものであるとか、そのようなもので事業内容を周知できれば、一番、どのような活動をしているというのが見えれば、また参加者も増えるかなというふうに思いますので、その辺りはまた事業者とも相談しながら進めさせていただければと思います。ありがとうございます。

野 田 委 員

なかなか支援が必要な方々に情報を届けることが難しい面もありますので、その点についても今後の検討に含めていただければと思います。よろしくお願いいたします。

教 育 長

他にいかがでしょうか。

善 本 委 員

ご説明いただきありがとうございます。

アンケートの参加動機を見ていると、「勉強できる場所がほしい」とか、「苦手科目を教えてほしい」という答えが非常に多いところから見ても、やはり学習の成功体験をそこで積めることがすごく大事なんだなということを感じます。

やっぱり学んで分かるようになりたいという気持ちを持っている人たちがたくさんいると思うので、私は特にこの時期って本当に学習の成功体験を積むということがとても大事だと思っていて、そういう意味では、勉強面での変化の一番多いのが、「わかるところが増えた」というふうに書いている人が圧倒的に多いので、これはとてもよいことだなというふうに思います。

色々な問題があって、学校から少し足が遠のいたりというケースもあると思い

ますが、やっぱり何よりも学びで自己肯定感が上がるというか、自分ができた、分かった、面白いというふうになれる、そういう機会を与えてあげることが何よりも大切だなというふうに、この結果を見ていても思いますので、そういう機会がこれからも増えていくことが望ましいなと思いますし、そういう意味で、先ほどご説明があったように、少しアンケートの回答数がもう少し多くなると、より一層、全般的な意図が伝わるのではないかなと思います。

あと、それから、大変よい取組として、進路相談もやっていますということで、2ページの事例のところで書いてくださっているのですが、これは8月のタイミングでということを書いていただいている、実はこれはとてもよくて、都立高校に転入する場合に、高校1年生の夏だけ少し特別な仕組みになっていて、課程が違って、学科が違って転入できるのって、高1の夏だけなのです。

だから、このタイミングで合わなかったときに、例えば全日制課程に通っているけど、定時制課程に移るとか、普通科に通っているけど、総合学科に行くとか、工業科に行くとかという転入が自由にできるのって高校1年生の夏だけなのです。

だから、このタイミングでそういうご相談を設けてあげるとするのは、とてもタイミングとして効果的じゃないかなと思うので、少しそれを意識していただいて、ぜひ、そういう機会を設けていただくと、すごくいいのではないかなというふうに思います。

あとは、最後に少しだけ細かいことを申し上げて誠に恐縮なのですが、一応、「編入」と「転入」って、用語として定義が違うので、転入は在籍したままで別の学校に移ることで、編入というのは、一旦、学校を辞めて、間が空いて、原則として、大体は1年以上は通っていて、単位を持っていて、途中から別の学年に入ります、間が空いて入ることが編入なので、多分、この場合の対策というのは転入試験対策じゃないかなと思うので、少し転入と編入の区別はしておいていただいた方がいいかなと思います。

もちろん、一旦辞めた人が編入するときの相談も乗ってあげて全然いいのではないかなというふうに思います。

以上です。

生涯学習課長 言葉の定義については、すみません、私も勉強不足のところがございましたので、そこは、今後、きちんと確認をさせていただければと思います。

多分、善本委員のおっしゃるとおり、転入の事例なのかなというふうに思っているところがございます。

また、今回、色々そのような学びの場というところで評価をいただきまして、誠にありがとうございます。

そこについて、やはり年齢の近い大学生とかのそのようなボランティアというか、そのような方たちが、結構、主に活動いただいて、生徒たちに教えてもらっているというところで、大分、年齢の近い方で非常に相談しやすい状況なのかなというところもございます。

ただ、その年齢の近い人だけではなくて、きちんと大人の方ももちろん責任

者としておりまして、そのような転入であるとか、そのようなところについては相談できるサポートがきちんと取られている事業というところでございますので、そのような意味では、今回、受託者については、いわゆる学習塾というところであったNPO法人というところが、やっぱりその辺はきちんとご提案いただいたところでございますので、引き続き、このようなところにきちんと事業をしていただくように進めさせていただきたいと思います。

また、すみません、アンケートについても、昨年度からL o G o フォームという形でW e b 上での回答ができるような仕組みを整えているところでございますが、まだまだ回答率が少ないというところでもございますので、そこは、さらに現場の方にも工夫を促して、相談しながら進めさせていただきたいと思います。

ありがとうございます。

教 育 長 他にいかがでしょうか。

私からは、野田委員からの質問とも連動しますが、この事業の周知、広報についてです。

対象は中高生で、公立の中学生は学校経由でお知らせできるわけですが、区民で国立や私立の中学校や高校に通っているお子さんにはどのように周知をしているのかが気になります。私立や国立の学校に通う、区民の中学生、高校生にはどのように周知をされているのでしょうか。

生涯学習課長 高校生のそのような私立とか国立とかの方については、中学時代から、引き続き、そのようなお友達関係とかで、友人を誘ったりというところですので、直接、周知をするという手段については、チラシの配布とか、そのような状況というようところでございます。

中学についても、チラシの配布をしているのですが、ただ、やっぱり国立とか、私立の学校に行かれている方については、なかなかこちらでも周知の仕方については非常に把握しづらいところもございまして、例えばi - y o u t hとかをご利用いただいたりとか、区の施設であれば、そのようなチラシを配っているところですが、直接、なかなかアプローチできていないというような状況がありますので、どのような形がいいのか、また事業者とも相談して進めさせていただきたいと思います。

教 育 長 分かりました。そうですね、例えば広報いたばしですとか、教育委員会が出している広報、紙媒体、デジタル媒体、両方ありますので、そのようなもので流すということもあっていいのではないかと思いますので、ぜひ検討していただきたいと思います。

生涯学習課長 すみません。そのような意味では、広報であるとか、教育広報、今年度は教育広報については、別の、今回、M I R A I S C H O O L のビジョンがあったので、今回、掲載は見送らせていただいたのですが、例年大体、4月のタイミング

のところで周知をさせていただいているところでございます。

そのような意味では、今年は少し教育広報での周知ができなかったというところがございまして、その辺りは、何か補完できるように相談してまいりたいと思います。ありがとうございます。

教 育 長 ありがとうございます。この事業に限らずですが、昨年度の監査において、教育委員会の各事業が、私立や国立に通っている中学生、高校生に対して広報が不足しているという指摘を受けていますので、この場でも申し上げさせてもらいました。

教育委員会全般にわたって、我々の所管の板橋区立学校に通う小学生、中学生だけではなくて、区民の皆さん、この事業で言えば中高生にきちんと事業の周知ができるような体制を整えていただければと思っております。

よろしく願いいたします。

他にございますか。

山 口 委 員 ありがとうございます。

ご説明ありがとうございます。ボランティアに関わる大学生というものの募集はどのようにしていらっしゃるのでしょうか。教えていただければと思います。

生涯学習課長 募集については、こちらのNPO法人の方で、直接、申込みを受けているというところでございますので、大学生は色々なところから来ている。区内の大学生という、本当に色々な大学からお願いしているという感じになります。

山 口 委 員 ありがとうございます。

教 育 長 他によろしいでしょうか。

(なし)

○報告事項

3. 第50回全国民俗芸能保存振興市町村連盟総会の開催について

(生－3・生涯学習課)

教 育 長 それでは、続いて、報告(3)「第50回全国民俗芸能保存振興市町村連盟総会の開催について」、生涯学習課長から報告願います。

生涯学習課長 「生－3」、第50回全国民俗芸能保存振興市町村連盟総会の開催についてでございます。

こちらの連盟については、民俗芸能、その他、無形民俗文化財の保存振興を目的として、昭和51年に結成された全国組織というふうになっております。

板橋区については、設立当初から加盟しておりまして、平成12年度から板橋

区長が会長、そして事務局の方を担当させていただいております。

毎年、加盟市町村で総会を開催しておりまして、今年度は板橋区で開催というところで、今回、ご報告をさせていただいたところでございます。

実は、板橋区では、今回で、昭和58年、平成13年に次いで、3回目の開催というふうになっております。

開催日程については、3でございます。

こちらにありますとおり、5月28日木曜日と29日金曜日の2日間というふうになっております。

初日は、役員会、総会、講演、あと情報交換懇親会、あとは民俗芸能鑑賞を成増アクトホールで行います。

2日目は、区内視察といたしまして、郷土芸能伝承館などを、今現在、予定しているところでございます。

参加者についてです。

4のとおりでございまして、大体20団体ほどを、現在、予定しているというところでございます。

次のページに移りまして、5でございます。

こちらは詳細なスケジュールの方をお示しさせていただいておりますので、後ほどご確認をいただければと思います。

また、6については、近年の実績結果というところで、令和6年度は八代市、令和7年度は西米良村というふうになっております。

3ページ目でございますが、こちらは加盟市区町村の一覧になっておりますので、ご参考までにご覧いただければと思います。

以上でございます。

教 育 長 質疑、意見等がございましたら、ご発言ください。

小 林 委 員 ご説明ありがとうございました。

この全民連には、23区の中では板橋区と品川区と八丈島しか入っていないということで、まさに民俗芸能の板橋という誇れる特徴の1つだと思うのですが、一方で、ユネスコの世界遺産に神楽を登録しようという動きがあると思うのですが、横のつながりということで、このような総会などでも、何か盛り上げるような風潮が起こっていらっしゃるのでしょうか。

生涯学習課長 今現在、一応、文化庁の方も、調査官の方もお見えになっていらっしゃるというところでございますが、今のところ、その部分について、特にうちも重要な項目として審議するというような方向では、正直、ないのが現状であります。今後、もう日程が迫っているところではございますが、その辺りも含めて、今回の役員会の方で提議するかどうか、また、私の方からも少し役員の方にお話をさせていただければと思います。ありがとうございます。

小林委員 ありがとうございました。

教 育 長 他にいかがでしょうか。

先ほどお話がありましたが、板橋区長が会長を長年務めているということもあり、また、記念すべき第50回の総会を板橋区で開催するという、大変名誉なことでもあります。小林委員からお話がありましたが、板橋区が伝統芸能、民俗芸能をしっかりと保存し、伝承しているということを確認し、また、アピールする、とても重要な会合になろうかと思います。

その意味で、ぜひたくさんの方に参加をしていただきたいと思いますし、加盟の市町村を見ますと、たくさんの自治体が全国にありますが、どのくらいの方が来ていただける見込みになっていますか。

生涯学習課長 こちらの参加の予定ですが、市区町村で言いますと、大体20ほどが、今、参加というようなご回答をいただいているというふうに聞いております。

今現在、回答がなかったところに、再度、今、確認をさせていただいているところでございまして、ですので、もう少し若干増えるかもしれないというところでございます。

教 育 長 ぜひ確認していただいて、たくさんの方に、50回記念ということもありますので、来ていただけるように促進していただければと思います。

予定を見ますと、2日目には、板橋区内の、松月院、旧粕谷家住宅、そして郷土芸能伝承館を見ていただき、また、徳丸北野神社獅子舞も皆さんに見ていただけるということですので、ぜひ、たくさんの方が来られるようによろしく願いいたします。

それでは、よろしいでしょうか。

(なし)

教 育 長 それでは、次に、教育委員会次第にはありませんが、追加報告事項はありませんか。

よろしいですか。

(なし)

教 育 長 それでは、先ほど申し上げましたように、報告2については非公開として聴取いたしますので、傍聴人の方はご退席願います。ありがとうございました。

(傍聴人 退席)

教 育 長 それでは報告事項の聴取に入ります。

○報告事項

2. 成増生涯学習センター及び成増教育相談室の長寿命化改修に係る検討状況について

(生－2・生涯学習課)

教 育 長 報告(2)「成増生涯学習センター及び成増教育相談室の長寿命化改修に係る検討状況について」、生涯学習課長から報告願います。

生涯学習課長 「生－2」の成増生涯学習センター及び成増教育相談室の長寿命化改修に係る検討状況についての資料をご覧くださいと思います。

こちらの進捗状況について、ご報告をさせていただくところでございます。

まず、1で、事業の概要になります。

(1) 基本方針になります。

①様々な世代が集う、交流できる魅力的な施設。

②安心・安全に利用できる施設。

③効率的かつ継続的な運営が可能となる複合化、こちらを基本方針として進めさせていただいているところでございます。

(2) スケジュールになります。

今年度で基本・実施設計を完了いたしまして、令和9年度、改修工事に着手。

令和10年度に完了・供用開始をめざしております。

工事期間については、大体13か月ほど、今のところは見込んでいるというところでございます。

2でございます。検討の進捗状況でございます。

各フロアについて、以下のとおり検討を進めたというところをお示しさせていただいております。

上から進みまして、3階部分でございますが、こちらは1階にあります教育相談室と成増フレンドをこちらの方に移設するというふうになっております。

2階部分については、貸室の再配置、また、大きさなんかを、見直しなんかによりまして、共用スペースを拡張いたしまして、ラウンジスペースを充実したいというふうに考えております。

1階部分については、こちらは、同様に、共用スペースの拡張と、3階にあった調理室などを移設しまして、そのような共用スペースで調理室なんかも利用できて、こども食堂のようなものとか、そのようなものを展開できるような形だというふうに考えているところでございます。

また、i－y o u t hの諸室についても、こちらも再配置というふうに考えております。

地下1階については、不要となりましたエレベーターの機械設備スペースなんかを活用いたしまして、音楽練習室を再配置という形で色々と見直しをしてまいります。

次のページでございます。

今後の検討課題になります。

①でございますが、こちらは、利用団体、利用者の声を踏まえ、実施設計を進めてまいりますというところでございます。

②でございますが、こちらは仮移転先の準備を進めてまいりますということでございます。

仮移転先については、既にご周知させていただいているとおり、旧赤塚いこいの家、赤塚5-16-33でございます。

③でございます。改修後の最適な運営のあり方について検討して進めていくというところでございます。

最後に、参考までに、施設の概要をお示しさせていただいております。

以上でございます。

教 育 長 単なる改修ではなく、階を移動した形の再配置なども含めて、大がかりな改修になるということです。

教育相談室が入っていますので、教育支援センター所長、何か補足があれば、お願いします。

教育支援センター所長 今、ご報告がありましたように、フロアの構成はこのとおりで進めております。細かな部屋の配置ですとか面積は、今、相談しながら進めているというところでございます。

教 育 長 それでは、質疑、意見等がございましたら、ご発言ください。

2番の配置、各階の再配置というプランにのっとって進行すれば、説明があった最初の基本方針、1番のところの3つの方針、これは十分に達成できる内容になっているのではないかと思います。

色々な世代の方に利用していただいて、交流できる、そういう空間になることが期待されます。

一方で、1点、これは私も事前に確認をして、しっかりとクリアしてほしい点は、教育相談室で、現在は1階、入ってすぐのところにあります。これが3階になるということで、利用者の方のなかには、なるべく他の方に見られないで入りたいという方もいらっしゃるかもしれない。

そういう方にとって、3階になるということで、どういった変化が生まれるのか心配なので、その点をうまくクリアできていけるような形で進めてほしいということは要望しておきました。その点について、少し補足説明願います。

生涯学習課長 こちらの配置の部分で、非常に入り口の取り合いとか、そのようなところで、やっぱり教育相談室のご利用者の方には、やっぱり一定の配慮が必要かなというところは認識しているところでございます。

ですので、入って、そのままエレベーターを利用して、なるべく人目というか、そのような形がやっぱり苦手な方については配慮させていただいたというふ

うに認識しているところでございますが、今まで、入ってすぐに右に入ってというところでしたので、そこは、若干、そのような部分では、今までよりも使い勝手が変わったというところでございますが、そこは運営の方でまた工夫をさせていただきながらというふうに考えております。

教 育 長 そうですね。ぜひ、運営において配慮するということですので、お願いします。
今の点、教育支援センター所長からもお願いできますか。

教育支援センター所長 まずは3階に行くという動線のとおりなのですが、成増フレンドと、また教育相談室が同じフロアというところもありますので、そちらの、それぞれの入り口の動線というのを、一定、配慮ができるような形で、今、設計していただけるようお願いをしているところでございます。
以上です。

教 育 長 2番の(1)、この3階の①、②。
①が教育相談室、②がフレンドですね。これが同じフロアになるということで、隣り合わせですね。

教育支援センター所長 そうですね。場所としては隣り合わせなのですが、入り口が全く同じにならないように、一定の配慮をするような形で、今、進めております。

教 育 長 ありがとうございます。ぜひその辺の配慮をしっかりとやってくれるということですので、よろしくお願いします。
他に何かございますか。
よろしいですか。

(なし)

教 育 長 それでは、以上をもちまして本日の教育委員会を閉会いたします。ありがとうございました。

午前 10時 34分 閉会